

# 協議会だより

発行・編集 大阪障害者スポーツ指導者協議会 広報部

大阪市東住吉区長居公園 1-32 大阪市長居障害者スポーツセンター内

TEL 06-6697-1402 FAX 06-6697-8613

http://www.v-aid.org/shidousya/news.html

平成 21 年 1 2 月 2 5 日

第 6 2 号

## 研修会

### 「卓球バレー」

平成 21 年 11 月 7 日 (日)  
 ファインプラザ大阪にて

講師 長谷川 尚三 氏  
 片山 美代子 氏



参加者は 24 名。  
 卓球バレーの歴史やあゆみ、普及状況などビデオを観ながら講義を受けました。また、簡単なルールの説明後に

ゲームを行いました。説明どおり簡単なルールで、動作も激しいものではなく、重度障害者の方でも楽しめるスポーツだと思われました。

6 人対 6 人の 12 名で行うので、自然にチーム全体が盛り上がり楽しく体験できました。

(広報・松浦)



## 卓球バレーのあゆみ

- 昭和 49 年 近畿の筋ジストロフィー症児が通う養護学校が実施。
- 昭和 51 年 重度の障害者が楽しく・団体で出来る競技として「身体障害者のスポーツ研修会」で紹介される。その後京都障害者スポーツ振興会が「重度の障害者のスポーツ」として京都市・府内全域に普及活動を行う。
- 昭和 56 年 国際障害者年を記念して「全京都身体障害者総合スポーツ大会 卓球大会の部」の団体種目として実施。
- 昭和 63 年 「第 24 回全国身体障害者スポーツ大会(京都大会)」の公開競技として、初めて採用される。  
 ・京都障害者スポーツ振興会編「卓球バレー競技規則」制定。
- 平成元年 全京都障害者総合スポーツ大会より、「卓球大会の部」から「卓球バレー大会」へと独立して開催。
- 平成 19 年 京都卓球バレー協会設立。
- 平成 20 年 「第 8 回全国障害者スポーツ大会(大分大会)」の「オープン競技」として採用される。(京都大会に続き 2 度目)

## 「特色」

- ★卓球台が 1 台あれば、広い場所をつかわなくても、多くの人数でできる。
- ★移動ができなくても、座位のままでも出来る。
- ★障害の種類・軽重が、違う人たちと一緒に協力してできる。
- ★重度障害者の人、力の弱い人にも、楽しく団体でできる。

大阪市長居障害者スポーツセンター開館 35 周年記念

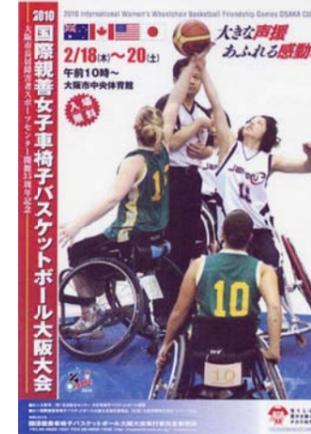
## 2010 国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会

平成 22 年 2 月 18 日(木) ~ 20 日(土)

大阪中央体育館 入場無料

参加チーム

オーストラリア・カナダ・アメリカ合衆国・日本



正しい手洗いうがいの方法で

感染予防をしましょう

## 「うがいについて」

「のど」は微生物の入り口です。鼻から入ってきた微生物も「のど」に付着しています。また、口の中などにいる微生物は咳やくしゃみなどで周囲を汚染してしまうことがあります。うがいは感染予防の大切な手段ですが、正しいうがい方法は以外に知られていません。

・うがいしやすい量(約 60ml)の水や緑茶(殺菌作用があるといわれています)、または希釈したうがい薬をコップに用意します。これを使って 3 回に分けてうがいをします。

・1 回目は口の中の食べかすなどをとる目的で、口に含んで強くうがいをします。

(いわゆる「クチュクチュペツ」)

・2 回目は、上を向いて、のどの奥まで届くように 15 秒程度うがいをします。

(いわゆる「ガラガラペツ」)

・3 回目はもう一度「ガラガラペツ」をします。

## 「手洗い手順」

<http://www.tearai.jp/>より抜粋



今年、新型インフルエンザの流行で少し体調が悪ければ、もしかして：なんて思ってしまう。まだ、感染はしていない。毎日、うがいと手洗いをしているおかげかな？季節性であれ、新型であれ基本は、やはり感染予防だと思おう。楽しくスポーツやボランティアをするには、健康第一。会員の皆さんも、身体には気をつけて頑張ってください。広報・松浦

## 編集後記

# 2009年スペシャルオリンピックス日本・大阪夏季地区大会

村上 智則

11月21日(土)、22日(日)の両日にわたり、『2009年スペシャルオリンピックス日本・大阪夏季地区大会』を開催することができました。陸上競技、バドミントン、バスケットボール、卓球、水泳競技、ボウリングの6競技に大阪をはじめ、スペシャルオリンピックス日本の8地区組織から313名のアスリートが参加しました。また、350名をこえる競技役員、ボランティアの皆様は大会の運営を支えていただきました。

大阪障害者スポーツ指導者協議会様からも、募集期間が短かったにもかかわらず、延べ23名の方々にご参加いただき、陸上競技と水泳競技の運営にご協力をいただきました。参加したアスリートたちは、日頃の練習の成果を発揮することはもちろん、多くの人との交流や喜びを分かち合う貴重な経験をすることができました。

スペシャルオリンピックスは、知的発達障がいのある人たちに、身近な場所で日常的にスポーツの練習をする機会やその成果を発表する競技会を提供しています。障がいの有無や程度に関わらず、より多くの人たちに参加いただき、ともに勇気を奮い、ともに喜びを感じ、そして感動を分かち合うことで、一人ひとりの大切さをお互いに認め合えるような社会を作りたいことを願ってこの大会も準備してきました。しかしながら、私たちの準備不足のために、多くの方々にご迷惑をおかけする点多々ありました。そのような時に、貴協議会の皆様から豊富な経験に基づいた的確なアドバイスをいただいたことに心より感謝しております。

いよいよ来年11月には、全国の地区組織から全11競技に1000余名のアスリートを迎えるナショナルゲームを開催いたします。参加したすべての人がともに感動を分かち合える大会にしたいと強く心に誓っております。ぜひ、今後とも、貴協議会の皆様に更なるご協力をお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

## 紹介

スペシャル・オリンピックスの始まりは1962年、故ケネディ元大統領の妹ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を開放して開いたサマーデイキャンプに遡ります。それは、やがてジョセフ・P・ケネディ Jr.財団の支援を受けて全米に広がりました。現在は国際本部をワシントンDCに、世界180カ国以上、250万人以上のアスリートと70万人を超えるボランティアが参加しています。ちなみに、スペシャル・オリンピックス日本が設立されたのは、1994年のことです。

国際オリンピック委員会 (IOC) よりオリンピックという名称を公式に使うことを認められており、オリンピックと同じように夏季・冬季とも4年に一度、世界大会が行われます。第1回は1968年に行われ、2002年夏季世界大会は6月にアイルランド・ダブリン市で開催され、大阪より3名のアスリートと5名のコーチを派遣いたしました。また、第7回冬季世界大会はアラスカアンカレッジにて開催され、2005年第8回冬季大会は日本・長野で開催されました。

2007年10月には、夏季・上海大会が開催され、大阪からアスリート5名 役員2名が参加しました。また、2009年冬季世界大会アイダホについては大阪からアスリート1名、コーチ1名、役員1名が参加する予定です。

ホームページより抜粋

## 卓球バレー競技規則



### 【A】設備・用具

#### 1. テーブル

・長さ2.74m、幅1.525mの長方形で床より76cmの水平面とする。(財)日本卓球協会公認のものを使用する。

#### 2. 使用ボール

・直径4.0cm、その中に金属球4個が入り、総重量3.6~3.8gとする。

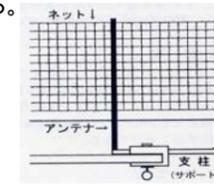
#### 3. ネット

・一般の卓球用と長さ以外同じ規定のネットを上下逆にし、ネットの下縁に幅15mmの白布をつけ、水平に弛みのないようにコート面から57mmの高さに同じ間隔に張る。

・ネットの真下をコートの境界線とする。

#### 4. サポート

・ネットを支えるサポート立て(金具)をテーブルに取り付ける。



#### 5. ラケット

・たて、よことも30cm以内の大きさの板(木製)で、かつ平坦で硬くなくてはならない。

・身体障害によりラケットの保持が困難な場合についての最小限に保持のための加工は差し支えない。また、単色の布等で手、足、腕等に縛ることは許される。

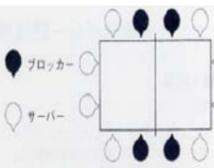


#### 6. 車椅子または椅子

・競技者は、車椅子または椅子に座って競技しなければならない。

### 【B】チーム(競技者)

・各チーム6名のプレーヤー(ブロッカー2名・サーバー4名)からなり、右図にいちするものをいう。



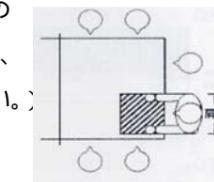
### 【C】勝敗・得点

・1セットは15点とし、3セットマッチで2セット先取したチームが勝ち。

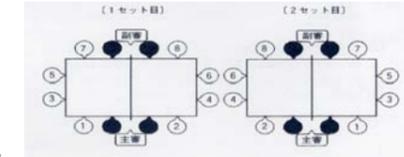
・全得点法(ラリーポイント制)をとる。

### 【D】サービス

・「サーバーの正面のエリア内」とは、右図の斜線の範囲内で、座位姿勢でボールが置き、ラケットの届く範囲である。(障害の程度により、やむを得ない場合は、その限りではない。)



- ・サービスは主審の合図から5秒以内に行う
- またボールは、ネット(支柱も含む)に触れることなく相手コートに達するものとする。
- ・サービスはネットぎわの者(ブロッカー)を除いた残り4人(サーバー)で主審側から行う。
- ・各チーム1本ずつ交代で行う。



### 【E】打球

- ・ブロッカーはサービスされたボールを1打で返球してはいけない。
- ・相手コートへ3打以内に返球しなければならない。ただし、3打目のボールがネットに触れた場合は、もう1回だけうつことが出来る。
- ・有効な打球とは、打球されたボールがネットに触れても、ネットの下をくぐるボールはすべて有効である。

### 【F】反則

- ・サービスミス...正規のサービスが行えなかったとき
- ・サブブロック...ブロッカーがサービスされたボールを直接相手コートに返したとき
- ・ボールアウト...相手の打球を返球できずに自コートの台から出るなど、ボールがアウトになったとき
- ・ホールディング...ボールを押さえたり押し出したとき
- ・ドリブル...ボールに連続して2回触れたとき
- ・サポート...打球したボールが支柱やアンテナ、その間のネットに触れたとき。または支柱とアンテナの間の空間を通過したとき
- ・タッチネット...ラケットや身体が支柱やネットに触れたとき
- ・オーバーネット...ネットの上や下から相手コート内にラケットや身体の一部が出たとき
- ・ボディボール...コート上でボールがプレーヤーにあたったとき。ラケットの範囲以外で打球したとき
- ・ストップボール...自コート内でボールが静止したとき
- ・オーバータイムス...3打以内で返球できなかったとき
- ・スタンディング...競技者が車椅子または椅子から腰をうかしたとき
- ・インテンションファール...打球後、ラケットをわざと手から離れたとき。コート上のボールを故意に吹いたり、あおいだりしたとき

## 第9回全国障害者スポーツ大会

# トキめき新潟大会

2009年10月10日(土)～12日(月・祝)



10/10～12 新潟で開催されました「トキめき新潟大会(天皇陛下御在位20周年記念第9回全国障害者スポーツ大会)」に広報より取材に行きまわりましたので報告させていただきます。

最近の新潟と言えば2004年の中越地震、2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震と惨事ばかりを耳にする地域ですが、2009年の国体とそれに続いた今回の全国障害者スポーツ大会と新潟県の皆さんの大きな力と前向きな気持ちを感じさせる大会でした。

10/10(土)の開会式は新潟県スポーツ公園内の東北電力ビッグスワンスタジアムで行われました、ここはHARD OFF ECO スタジアム新潟も同じ敷地内にあり、この公園内でソフトボール、フットベースボールの競技も行われました。

✧開会式は時折の雨と風の中でしたが、それを吹き飛ばすような大阪府と大阪市と堺市の選手団の入場でした(橋爪団長を先頭にした大阪府選手団151名、手嶋団長を先頭にした大阪市選手団117名、小西団長を先頭にした堺市選手団40名)。

午後の陸上(東北電力ビッグスワンスタジアム)では50m、800m、立幅跳び、走り幅跳び、ジャベリックスロー、ピーンバッグ投げが行われました。

台風18号と秋雨前線の影響で方向の定まらない強い風がスタジアムを抜け選手たちには集中の難しいコンディションのようでした。

✧11(日)にはボウリング(グランドポウル黒崎)、卓球(亀田総合体育館)、陸上を見に行きました。他にもたくさん競技の種類があって開催されているのですが、今回の大会は新潟市、燕市、長岡市、新発田市と四市にまたがった開催です。広い新潟県ではこの移動に新幹線を使わなければ時間内に行けなかったり、新潟市内の競技も全てバス移動できるのですが中継が新潟駅に戻って来なければなりません。この移動はかなり効率が良くなく応援に来られた人もいくつかの競技を見なかったのに...と残念がる声も聞かれました。

ボウリング競技は今年より1日4ゲームとハードな進行(昨年までは2日×2ゲーム)となり選手はその開催に対応するのが大変なようでした。

ボウリングと卓球は観客席と試合をしている選手が近くて、展開も早く応援する方も熱がこもりました。

✧12(月)の陸上では200mとリレーと立幅跳ソフトボール投げが行われました。

最終種目の4×100mリレーでは7組のレースが行われました。結果を問うのはこの大会の趣旨ではないとは思いますが、大阪市が4組2位の52.28秒、大阪府が6組1位で51.77秒、堺市が7組1位の50.22秒と関西の早さには驚く物がありました。

残念なことに閉会式には開催会場の朱鷺メッセの収容人数の関係で選手団と役員以外の人員は参加することができず日本各地から応援に来られている人にはちょっとガッカリな思いとなりました。  
(広報部：松田 靖史)



### 閉会式 朱鷺メッセ



チーバ

3日間の日程が終わり、トキめき新潟大会は閉幕となりました。新潟から千葉へと引き継がれ、またマスコットのトッキキからチーバへと。  
来年も応援よろしくね♥



### 個人競技選手団メダル数

選手団	陸上競技			水泳			アーチェリー			卓球			フライングディスク			ボウリング			合計		
	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅
大阪府	29	11	8	11	6	3	1	0	0	6	3	0	8	5	5	2	1	2	57	26	15
大阪市	10	7	2	10	6	6	1	0	0	4	1	0	1	1	0	3	2	0	29	17	8
堺市	12	5	2	3	3	0	1	0	0	2	1	0	1	2	0	0	1	0	19	12	2

選手延数：大阪府126 大阪市80 堺市40

### 団体競技結果

競技名	優勝(金)	準優勝(銀)	3位(銅)
バレーボール(聴覚・男子)	愛知県	大阪市	札幌市
バレーボール(聴覚・女子)	静岡県	大阪市	札幌市
サッカー	静岡県	大阪府	島根県

新潟大会に出場して

堺市 築澤 勇 選手

今回は堺市選手としては初めて出場させていただきました。

過去2回山形県大会(当時16歳)・宮城県(当時25歳)に参加しました。今回、33歳での参加が一番感じたことは、大会までのコンディション作りが過去の大会よりも難しくなってきたなと感じていた中、台風の影響を受け新潟まで夜行バスでの移動とかなりハードスケジュールとなりました。また体調の調整が心配でした。しかし公式練習でしっかり泳いで、カチカチになっていた体を、ひたすらほぐすつもりで、リラックスさせるように泳ぎました。

そして今回は、試合をしっかり楽しみながら競技をしようと決めていたので、良い緊張感で泳ぐ事ができ、エントリーしていた50M平泳ぎでは1位で目標タイム1分を切って57秒。25M自由形順位は2位でしたが、21秒と自己ベストを2秒も更新できたので、両種目とも良い結果を出せてとても嬉しく思いました。

これからも練習をしてタイムを更新できるように頑張っていきたいと思います。



バレーボール(聴覚・男子) 今井 勇太選手

第9回全国障害者スポーツ大会トキめき新潟大会で男子バレーボール(聴覚)は準優勝しました。

大会前の全体練習をする機会がなかなか無く、メンバーも去年のメンバーの半分が入れ替わっており、コミュニケーション不足で相手に負けたように思います。今大会では、若手メンバーは良い経験が出来たと思います。今大会の課題を次の試合で克服出来たらいいと思います。

今回は負けてしまいましたが、次回は必ず優勝出来ると確信しています。

その為には日頃の生活や練習、トレーニングを怠らずに頑張りたいと思います。



- ・アーチェリー
- ・グランドソフトボール

- ・水泳
- ・フライングディスク
- ・バレーボール

# 第9回全国障害者スポーツ大会 トキめき新潟

サッカー



- ・陸上競技
- ・ソフトボール
- ・フットベースボール
- ・卓球
- ・ボウリング
- ・バスケットボール
- ・車椅子バスケットボール



フライングディスク大阪市選手団



堺市水泳選手団



大阪府水泳選手団



大阪市水泳選手団

橋爪団長

大阪府選手団 151名



手島団長

大阪市選手団 117名



小西団長

堺市選手団 40名



スラローム



ボウリング堺市選手団



サウンドテーブルテニス



一般卓球



ボウリング



炬火入場



点火



## トキめき新潟大会出場感想

堺市 空山 恒久選手

2009年10月10日から10月12日まで大会が行われました。私は堺市選手団として卓球で出場し、10月8日から出発しましたが台風18号の影響で空路が欠航し夜行バスにて10時間かけて翌日9日の朝4時に新潟に入りました。

バスでの移動で疲れはありましたが、それよりも堺市代表として大会に向けて新潟市亀田総合体育館にて気合十分で公式練習を行い、その日の夜は公式練習での疲れがあり早く就寝し疲れを取り、本大会に向けて準備は万端でドキドキワクワクでした。

10月10日全国障害者スポーツ大会 トキめき新潟大会開会式会場、東北電力ビッグスワンスタジアムにて始まり皇太子殿下様お出迎え開会式会場を堺市選手団として行進し47都道府県と18の政令指定都市からの代表選手が一同に集まり、炬火が点火し新潟県民による演技、この大会の壮大を今一度ヒシヒシ実感しました。

午後からは卓球会場に異動し障害者区分別ブロック4名にて試合が始まり気合十分で挑みましたが、山形の選手に0-3で負けてしまい、大会二日目は兵庫の選手にも0-3負け、最後に福岡の選手には3-0で勝ちました。しかし障害者区分で先の山形・兵庫の対戦はオープン戦(勝敗は関係なし)で最後の福岡での対戦成績で金メダルを頂きました。しかし、自分自身ではブロックで3位の成績なので不甲斐なさを感じ、練習不足だったと思いました。

閉会式では新潟県知事から千葉県知事へ大会旗が引き継がれ、平原綾香さんの歌を聞き盛大に大会を終え少し寂しい気持ちになり、また次回千葉大会に向けて、より一層頑張らなければと思います。

この大会を通じて、新潟のおいしいお米・お酒・新鮮な魚を堪能でき、町を歩いていると市民の皆さんから「頑張ってください。」と声を掛けられ新潟の皆さん暖かさや、私たち卓球選手団を支えて頂いたボランティアさんには、5日間お疲れ様でした。本当にありがとうございました。